



第 49 号

平成27年 5月15日
 発行 市立島田市民病院
 事業管理者 服部 隆一
 編集 広報委員会

病院事業管理者2期目にあたり

島田市病院事業管理者 服部隆一

この度4月1日付けで染谷絹代島田市長から病院事業管理者に任命され、引き続き病院の舵取りを託されました。何卒よろしくお願い申し上げます。

病院の運営に際して、今後もこれまでの理念【地域医療に貢献する】、基本方針【1. 質の高い医療を実践する、2. 地域の医療、保健・福祉機関と連携する、3. 患者の権利を尊重し、医の倫理を遵守する、4. 優れた医療人を育成する、5. 健全経営を行う】を継続してまいります。会議などの冒頭にこれらを唱和しており、次第に職員に浸透しております。私にはこれが自分を見つめ直すよい機会となっております。理念なき組織は永続しません。理念を実現するため、基本方針があります。組織は人から成り、「人財」(優れた医療人)の育成は必須です。限りある財政下、健全経営ができねば、病院の存続は困難です。

当院へ赴任した7年前、運転資金不足時、金融機関から一時借入するという危機的状況でした。これを打開するには、支出を減らし、収入を増やすしかありません。材料費・委託費削減、光熱費節約など経費削減に取り組み、職員にコスト意識が広まりました。収入増には、患者数と医師数の増加が不可欠です。地域医師会との連携を深め、診療所からの紹介数が増えました。個人的人脈も駆使しながら大学との連携強化、病院ウェブサイト(是非とも御覧ください)での積極的な情報発信、若手医師の待遇・教育環境改善と勧誘継続により、医師を集めました。私が中心となって受験指導を行い、日本の医師免許を取得した中国人医師もおります。これら一連の取組により、一時借入が不要となりました。

当院には島田市出身の医師は僅か3名しかおりません。ご近所に医学生がおりましたら、当事者意識をお持ちになって、当院への勧誘をお願い申し上げます。また、看護師を目指す学生さんには是非とも島田市立看護専門学校への進学をお勧めください。

少子高齢化が進み、医療も変革を迫られている中(詳細はウェブサイトの挨拶に記しました)、新病院建設を推進していくことは容易ではありませんが、職員一丸となって取り組んでまいります。



地域医療に貢献する

市立島田市民病院 (0547-35-2111(代))
Shimada Municipal Hospital

副院長就任あいさつ

副院長兼皮膚科主任部長 橋爪秀夫



この度、副院長を拝命いたしました、橋爪と申します。若輩ではございますが、地域医療を担う基幹病院として市立島田市民病院の役割を果たすため、力を尽くす所存でございますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

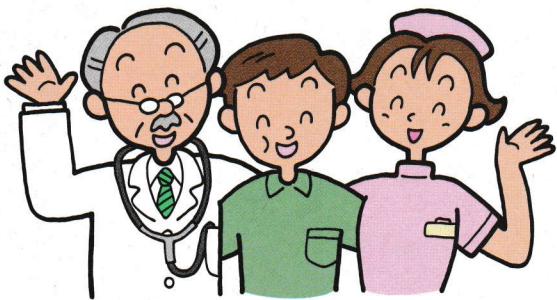
さて、本県の人口10万人あたりの医師数は、都道府県別で193人と埼玉、茨城、千葉、福島に次ぐワースト5で、全国平均の237.8人からかけ離れた数字です。しかも、県内でも静岡市や浜松市への医師の集中化がみられ、高齢者が多く居住する島田市や志太榛原地域の医師の過疎化はさらに加速している悲しい現実があります。

我が国の最も大きな課題である医療資源の不均衡分配は、公平であるべき医療を崩壊の危機にさらしています。実際、ここ数年近隣病院において、医師の激減により極端に医療が制限されていることをご存知でしょうか。当院においても、規模に見合う医師の確保はできていません。近隣病院の規模縮小に伴い、周辺からの重症患者を受入れざるを得ない本病院の使命から、その皺寄せは医師個々の頑張りに依存する苦しい状態が続いています。

この状況下では、医師が充足していた良き時

代のように、患者さんの要求のすべてにお答えすることは困難です。医療をビジネスとして展開する欧米とは異なり、我が国の医療は、すべての人が同質の医療を享受できる独自の健康保険制度を生み、医師と患者との深い信頼関係に根ざす医療体系を築き上げ、存続してきました。不必要な救急医療は、医療資源を浪費させ、病気の軽重を問わずに専門医に任せるのは非効率です。

市立島田市民病院を存続させ、現在の機能を維持していくためには、医療者の努力のみならず、市民の皆様にご協力いただくことが必要です。市民の皆様に、本病院を愛し、上手に利用していただくことをお願い申し上げます。



卒後1年目の
医師の採用に向けた
取り組み

病院総務課

学校を卒業して社会人1年目があるように、どの医師にも医学部を卒業し、医師1年目があります。一般の社会人とは異なり、1年目の就職先は、全国の医学生と全国の病院が、一斉に希望を出し合って組み合わせを決める「マッチング」制度で決まります。

当院は全国的に見て知名度が高くはありません。マッチングの選択肢に入れてもらえるよう、医学生に当院の名前と魅力をアピールする必要があります。

そこで、静岡県主催の病院合同説明会に出展して直接話したり、ウェブサイトの研修内容を充実させたり、医学生の臨床実習を積極的に受け入れて、医学生との出会い(きっかけ)づくりに励んでいます。

病院見学では、1泊2日で臨床研修や職場の雰囲気を実際に体験してもらっており、医師をはじめ病院職員全員で島田の魅力を伝えていきます。

また、勤務した年数に応じて返済が免除される医学生修学資金制度も制度開始から6年目を迎え、1年目医師の採用と定着の一助となっています。



皮膚排泄ケア認定看護師

奈木志津子・山本利恵子

排泄は人間の基本的な欲求です。このため身体機能の低下や社会生活を制限している排泄の障害に対して、私たちは少しでも悩みを取り除き、生きる意欲や自分らしい生活を送ることができるよう看護に力を入れています。

また、トラブルのある皮膚や疾患の影響や加齢による弱い皮膚に対して、健康を取り戻すことを目標としています。

専門領域としては、創傷（褥瘡のケア）・ストーマ（人工膀胱・人工肛門のケア）・失禁（尿・便失禁のケア）において活動をしています。

具体的には、病気になる療養生活をしていると褥瘡（いわゆる床ずれ）が発生しやすくなります。

「予防に勝る治療はなし」は、まさにその通りであり、まず入院中に褥瘡がでないように予防することに力を入れています。しかしながら褥瘡を保有して入院してくる患者さんも多く、その際にはチームで連携し、早期に褥瘡が治るよう努めています。

また病気によってストーマ（人工膀胱・人工肛門）を余儀なくされる患者さんの



手術前から手術後の相談に応じています。

そして退院後は、トラブル時の対応・装具の紹介・社会福祉制度など個々にあわせた相談に対応できるようにストーマ外来を開設し、継続的にサポートを行っています。

失禁ケアにおいては、尿・便失禁時の皮膚障害への対応にとどまらず、失禁が改善できるように看護をしています。また、日常的に使用されるオムツの当て方にも力を入れています。

そして地域の病院・施設・訪問看護ステーションなどと連携をとりながら患者さんがいきいきとした生活ができるように日々の看護に努めています。

療養生活で困っている方などはいつでも相談に応じます。気軽に相談してください。



お知らせ

平成27年6月1日より、入院患者さんのオムツを有料で用意するよう変更します。

オムツは、患者さんが快適に過ごしていただけるよう、肌に優しく、吸湿性の良いものを用いています。

これまでは患者さんやご家族に用意していた変更でしたが、今後は不要になります。急な変更ですが、ご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

新病院建設通信 2

病院建設推進課

病院では医師や看護師のほか、薬剤師や診療放射線技師などの医療技術員、医療員や栄養士、事務職員など、多くのスタッフが連携して業務を行っています。

新病院の建設にあたっては、各部門の業務が円滑に行えるよう、部門別の整備方針や必要な部屋数などの検討が必要になります。医師や看護師をはじめとする病院スタッフで構成している新病院建設計画では、これらの部門別計画を作成し、限られた建物スペースの中に、効率的で連携のとれた諸室をいかに配置していくかなどを検討しています。

また、建物に関する以外にも、更新する医療機器の整備方針（更新するもの、継続利用するものなどの選定）も行う予定です。各部門が抱える課題を可能な限り解消し、効率的な配置とすることで、各部門の役割や機能を十分に発揮し、より質の高い医療を実践できる病院になるよう、検討を重ねています。



島田市民病院医師診療表

電話 (0547) 35-2111(代)

◆診療各科の受付時間は7:30~11:00です。(一部診療科を除く)

★紹介状がなくても受診できます。

(紹介状がない場合は特定初診料が2,160円かかります)

平成27年4月1日現在

科 別	診療区分	月	火	水	木	金	科 別	診療区分	月	火	水	木	金		
総合診療科	午前・一診	岩嶋	谷尾	岩嶋	谷尾	岩嶋	健康管理科	午前		松田					
	午前・二診	玉嶋	梅村/岩嶋	植田/谷尾	井上/岩嶋	鈴木			※初診予約が必要です。						
漢方内科	午前				第1・第3・第5 小野		外科	一診	磯野	上村	植田	上村 (手術相談)	上村 (術前診察)		
					第2・第4 鈴木			二診	篠原	土屋	野村	芦沢	処置・検査		
		※初診予約が必要です。						(専門外来)	乳腺	13:30~14:30				検査のみ	
腎臓内科	午前	高			野垣	鈴木	形成外科	午前・一診	寺井	石川	寺井	寺井	石川		
	午後				野垣			午前・二診	石川						
消化器内科	午前・一診	松下	渡邊	金山	石橋	間瀬	脳神経外科	午後	レーザー	手術	手術	レーザー	手術		
	午後・一診							一診	山形	阪口	浦野	村田	阪口		
	午前・二診	石橋	森下	間瀬	松下	金山			※受付時間:7:30~10:00です。						
	午後・二診							泌尿器科	一診	交替	福澤	福澤	植村	恵	
循環器内科	一診	青山	川人	露木	石田	金森	産婦人科	二診		恵	植村	木村			
	二診	第1・第3 近藤	青山	松岡	近藤	蔦野		その他	手術	検査・処置	手術	検査・処置	手術	手術	
	午前・三診	石川		服部	不整脈外来 第2・第4				※金曜日は予約の方のみの診察になります。						
(専門外来) 13:30~15:00	ペースメーカー	石田													
小児科	一診	武藤	新規相談 武藤	武藤	専門 武藤	武藤	眼科	午前・一診	小原	小原	小原	小原	小原		
	二診	こども ※注3	負荷試験 黒川		未熟児・専門 黒川	黒川		午後・一診	手術	手術	検査	手術	検査		
	予防接種	交替	交替	交替	交替	交替		午前・二診	江崎	江崎	江崎	江崎	江崎		
	乳児検診			黒川	武藤			午後・二診	手術	手術	手術	手術	検査		
	専門外来	喘息	アレルギー 内分泌	神経	内分泌	発達			耳鼻咽喉科	午前	山原	山河	山河	山河	山河
		黒川 心臓 こども ※注3	黒川	武藤	黒川	武藤			午後	山原					
	※午前中の一般は月・金の10時迄。 ※受付時間:7:30~10:00です。						皮膚科	一診	橋爪	橋爪	橋爪	橋爪	橋爪		
							二診	影山	馬屋原	影山	影山	影山			
							三診	植田	影山	植田	植田	植田			
								※診察は午前のみになります。 午後は手術、病棟業務となります							

★紹介状と初診予約が必要です。

科 別	診療区分	月	火	水	木	金	科 別	診療区分	月	火	水	木	金
血液内科	一診	午前 野垣	新患のみ 柳田	柳田	柳田	柳田	整形外科	一診	佐伯	澤田	加藤	齋藤	古川
糖尿病・ 内分泌内科	午前・一診	林	善當	善當	岡西			二診		片山	古川	澤田	片山
	午前・再診	岡西	林	林	岡西/大石			三診	午前 貯血	齋藤	佐伯	加藤	佐伯
	午後・再診			小谷	大石			手術	手術 義肢装具	手術	手術 義肢装具	手術	
神経内科	午前			近藤/樹田		近藤	歯科口腔外科	午前・一診	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡
呼吸器内科 呼吸器外科 ※注1・注2	一診	午前(月2回) 非常勤	山口	陳	岩嶋	菅沼		午後・一診		蔡		蔡	
	二診	小林	岩嶋	小林		奥田		午前・二診	田中	田中	田中	田中	田中
	三診	呼吸器外科 検診後		山岸				午後・二診		田中		田中	
	四診	菅沼	菅沼	奥田	菅沼			三診	厚地		厚地	齋藤	厚地
	五診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		午後	手術		手術	手術	手術
心療内科	午前・再診 午後・初診	松田						※インプラントと外傷については 紹介状は不要ですが、予約は必要です。 詳しくは口腔外科に問い合せ下さい。					
放射線科	午前	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤							
	午後												

- ◆(※注1)呼吸器内科:島田市及び川根本町在住の方が対象
- ◆(※注2)呼吸器外科:島田市及び近隣市町在住の方で手術・検査が必要な疾患の患者が対象
- ◆(※注3)県立こども病院からの非常勤医師が対応します。
- ◆都合により変更する場合がありますので、ご了承下さい。